

1. 第3回検討会議での主な意見

2025年7月30日開催

■市民交流機能について

【運営について】

- ・人を集めるためには、人を呼ぶための仕掛けが必要である。市民が主体となってなにかしらの仕掛けを行っていくことが重要ではないか。
- ・人を集めるための仕掛けを行うのであれば、指定管理者との協力も必要になる。ノウハウのある人選をする必要がある。
- ・図書館等と役場を併設すると、役場が閉鎖する土日の運営をどうするか考える必要がある。

【議論の進め方について】

- ・どのように使っていくのかという議論が現段階では重要と考える。そのような使い方をするために必要な設備という形で考えていくべきではないか。

【使い方・活用方法について】

- ・行く目的が複数ある、複合的な場となればよいのではないか。
- ・イベントが出来る場となればよい。イベント時には広場とつなげてスペースを開放するなど柔軟な使い方が出来ればよい。
- ・見晴公園に設置してあるSLを移設して活用できないか。

【対象者について】

- ・旧駅前に歩いている人を増やしたい。高校生から子連れの親子に来てもらえたらよい。
- ・子どもが集まる場や母親世代がゆっくりできる場が足りないと感じる。若者目線で考えることが大事ではないか。
- ・介護施設の入居者が使える施設になったらよいといった意見もある。
- ・市民が優先的に使えるような場とする必要がある。

【機能について】

- ・平日日中にも利用者を呼べるよう、カフェ機能を併設するなど日常的に行きやすい空間とすることが大事ではないか。
- ・コンビニがあれば、庁舎職員が使用するのではないか。
- ・国もまちなかに本屋を残すことに力を入れており、公設民営という形で、三省堂書店を入れてはどうか。
- ・カフェを導入するのであれば、フリースペースで飲食できる形にすれば面積を抑えられるのではないか。
- ・老若男女問わず使用するATMは導入すべきであると考える。
- ・郵便局を入れてはどうか。
- ・冷房設備を完備してほしい。

■ 交通結節機能について

【結節機能について】

- ・ 市内バスの利用は少なく、お盆と正月には利用者が多いなど、利用者のニーズを考えた結節点としたほうが良いのではないかな。
- ・ 都市間バスと市内路線のバスをつなぐ拠点を作るべきである。
- ・ 運営をバス会社に委託するのかや結節点の集約についてバス事業者側が望んでいるのかななどを整理する必要がある。
- ・ バスの待ち時間にカフェ利用などが出来ると良い。
- ・ パークアンドライドとしての利用や、タクシーやマイカーとの接続が円滑にできるような設計が必要。

【駐車場等の整備について】

- ・ 自家用車での利用やバス利用者等を考慮すると、500台ほどの駐車場を整備してほしい。
- ・ 予定敷地は季節風が直撃し、風雪がすごい。除雪について考慮した設計とする必要がある。

■ 会議の進め方について

- ・ 事務局にメールで送付した質疑や意見について返答や共有をしてほしい。同じ議論になりかねない。
- ・ 事務局への意見や欠席者の意見は会議資料として添付してほしい。
- ・ 部会について、各テーマの関係者が部会で議論した内容を本会議で議論すると理解していたが、そうであると本会議の意味が薄れてしまう。もう一度、部会長と相談してあり方を検討したほうが良いのではないかな。